



中山三三通

114
A 3875

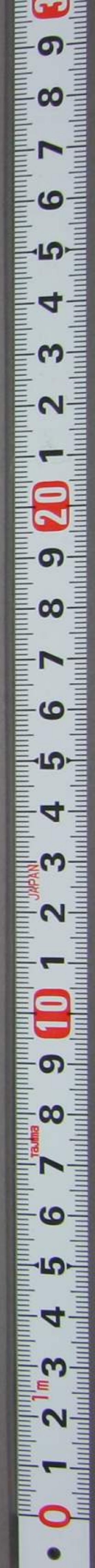


三月廿四日廿八日迄

廣ク工業ヲ開キ大ニ國益ヲ起スハ
各科ノ工業ニ精達スル者ヲ成立スル

ヲ以テ基本トス依テ工部學校至急以
取建ノ為別冊奉建言候云々後年
ノ大成ヲ期スル者ニ即今ノ的用ニ
充ル急辦法ハ各科ニ從事スル官員
及生徒ノ内自他ニ抽テ勉勵學術昇達
スル者ヲ精撰シ研究ノ為ノ西洋各國

大正十一年四月
大隈侯爵邸寄贈



ノ内各其科ノ工事盛ニ行ハル、ノ地ニ達
シ現場ニ於テ質問傳習セシムルニ若クハ
ナシ同テ今度工部ニ管スル質問及傳習
生ノ規制別冊ノ通所定相成ル様仕度
候也

辛未四月

工部ニ管スル質問並傳習生規則

一工部ノ諸科鑛山製鐵造船諸建築諸
製作等ニ従事スル官員生徒ノ内技術掛
ト文書掛ト兩様共ニ擧擧スヘキ事
一文事ハ必洋學ニ通スル者ノ内擧擧スヘ
ト虫モ技術ニ於テ昇達スル者ハ洋學ニ
通セスト虫モ亦擧擧スヘキ事
一人擧ハ各科全權ト技長ト商量検査

ノ上省議ヲ請テ決定スヘキ事

一 身体健康ナルヤ醫院ノ検査ヲ受クヘキ事

一 人員ハ一科ヨリ各年兩名若クハ三名ヲ撰取スヘキ事

一 在留年限ハ其業其人ニ依リ一様デラス但通常十八ヶ月ヨリ三年ト定ム人撰ノ節之ヲ議定スヘキ事

一 在留給料ハ質問生ハ一年洋銀千二百枚ヨリ千五百枚迄傳信生ハ九百枚ヨリ千二百枚迄其業其人ニ依リ人撰ノ節之ヲ議定スヘキ事

但往返旅費並上程前支度料ハ別ニ給フヘキ事

一 撰舉ノ期月ハ二月八月兩度タルヘキ事
一 外國脩業中ハ都テ生徒ノ名目ニテ帰

朝ノ上成業ノ度ニ隨ヒ等級ヲ命ス
ヘキ事

一 帰

朝ノ上七ヶ年間各其局ニ勤務スヘキ事

一 上程帰

朝等之規則并苗學中心湯方ハ兼テ
御布告ノ旨堅ク可相守事